



生物班

活動日時／週 1～3 回 18 : 00 まで

活動場所／生物室

参与／2 名

班員／12 名

3 年生 2 名 2 年生 4 名 1 年生 6 名

私たち生物班は現在、男女合わせて 12 名の班員が在籍しています。活動場所は生物室で、班員の都合に応じて活動日を決めています。

～活動について～

私たちは現在、淡水に生息する海綿動物の長期飼育を主なテーマとし研究を行っています。研究活動としては、海綿動物の無性生殖体である芽球の全能性の観察や、装置の作成による成体の飼育実験が主体です。また、校外活動としてイベントに参加したり、博物館に赴き研修を受けることもあります。2021 年度は、滋賀県で開催された近畿総合文化祭に参加しました。

～研究について～

研究を通じて、研究することの楽しさ、面白さを感じることが出来ます。ほとんどの班員は高校に入って初めて研究をするので、わからないことがあっても大丈夫です。

～これからについて～

今年も引き続き海綿動物の研究を行っていきます。長期的な目標として、海綿動物の濾過機能を川の水質浄化に利用することを考えています。

さらに並行して、班員が個々に関心を持ったテーマについて、個人研究という形で活動を行っています。例えば、ブルーギルやクロオオアリなどに関する研究が進行中です。

班員の数が増えるほど、行える研究や実験の幅も広がるので、多くの新入生の入班を求めています。生物班は兼班者も大歓迎です。生物室で過ごした時間はあなたの心の支えとなるでしょう。

生物班

活動実績

令和3年度

- 第65回滋賀県学生科学賞県展 佳作
「淡水カイメンの生育条件を探る ―芽球と成体を用いた実験を通じて―」

- 第75回滋賀県児童生徒科学研究発表大会 読売新聞社賞
「ハッチ率と飼育実験からみる淡水カイメンの生育条件」

令和元年度

- 第63回滋賀県学生科学賞県展 佳作
「琵琶湖の全層循環とプランクトン様相の関係性」 最優秀賞
- 第73回滋賀県児童生徒科学研究発表大会
「琵琶湖の全層循環とプランクトン様相の関係性」
滋賀県科学教育研究会会長賞